

赤い電車を利用しよう！

「赤い電車」こと名鉄西尾・蒲郡線は、27年度までの存続は決定しています。しかし、28年度以降の運行についてはまだ決まっていません。今年度中に決定できるように名鉄と協議を進めるとともに、さらなる利用者増に向けての活動に取り組んでいきます。



海に見える鉄道 名鉄西尾・蒲郡線

名鉄西尾・蒲郡線は、明治末期から昭和初期にかけて開通し、地域の足として、沿線にある温泉地などへの観光路線として活躍してきました。しかし、近年自動車の普及や観光資源の多様化などにより利用者が減少し、運営状況は大変厳しいものとなっています。

そのため、鉄道を運行する名古屋鉄道株式会社と沿線自治体の蒲郡市・西尾市で「名鉄西尾・蒲郡線対策協議会」を設立し、運行について協議を行っています。

地域の足をなくさないために

利用者を増やすため、市民によって構成される「市民まるごと赤い電車応援団」がイベントなどを行い、利用促進・PR活動に取り組んでいます。

また、鉄道の維持存続のため、名鉄に対し年間約2億5千万円を蒲郡市と西尾市で負担しています。

蒲郡市…約1億円

西尾市…約1億5千万円

利用者は増加傾向に

応援団の取り組みの成果もあり、西尾・蒲郡線の利用状況は平成20～25年度は年々増加傾向にあります。蒲郡線においても、25年度は7年ぶりに利用者が増加しました。

利用状況（単位：千人）

年度	利用状況
22	3,071
23	3,072
24	3,120
25	3,242
26	3,173

※26年度は消費税引き上げに伴う定期券先買いの影響を除くと3,251千人と推定されます。（名古屋鉄道試算）



朝の通勤・通学時間の名鉄蒲郡駅